



モデル A-7 オイル減圧バルブ設置説明書

A-7オイルディファレンシャルバルブは持続性抜け口圧力調節器で、高圧オイルシステムでオイルレベルコントロールへのオイル圧を下げる時に使用します。分離吸引グループシステムでは、グループ毎にA-7が1個必要です。

1. A-7は、オイルセパレータとオイルレベルコントロール間の、オイル管に取り付けます。A-7とオイルレベルコントロールの間は、圧力を調整するためにアクセスできるようにしておいてください。
2. さらに、将来のフィルター交換のために遮断弁の設置が必要です。
3. システムに分離吸引ヘッダがついていて、2つ以上の吸引温度を維持していく場合には、A-7は各コンプレッサ吸引グループ毎に必要です。
4. サテライトコンプレッサは他の多重コンプレッサよりかなり低い吸引圧のことがあり、その場合専用のA-7バルブが必要になります。
5. マルチステージコンプレッサは、クランクケース圧が吸引圧より高いこともあります。
6. 最大クランクケース圧を確認しておいてください。A-7減圧バルブを、最大コンプレッサクランクケース圧より5-20 PSIほど高く設定してください。注: 圧力が高いとコンプレッサのオイルレベルが高くなります。
7. 解凍サイクルの後など、システム移行によっては吸引圧が普通の稼働圧より高くなることがあります。
8. 圧力を調節するには、A-7調整を内側に向けて(時計方向)回すと、増圧します。減圧するには外側に向けて(反時計方向)回します。1回転毎に約7 PSIです。工場出荷時には40 PSI ± 2に設定されています。

ご質問があります？ 1-800-552-9300、630.293.5910で電話するか、またはtemprite@temprite.comメールでご連絡ください。